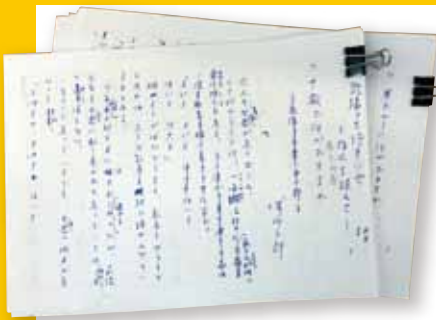


作家・城山三郎は、名古屋で生まれ育ち、海軍特別幹部練習生として志願入隊し広島で終戦をむかえました。その後、東京商科大学（現・橋大学）を卒業し、岡崎の愛知学芸大学（現・愛知教育大学）で講師を務めるかたわらで、読書会「くれとす」や同人誌「近代批評」に加わり文学の道を進みました。そして昭和32年「輸出」で文学界新人賞受賞、34年「総会屋錦城」で第40回直木賞を受賞しました。「落日燃ゆ」では吉川英治文学賞、毎日出版文化賞受賞。以後、企業の内幕とそこに展開する人間模様を描き続け、経済小説の先駆けとなりました。平成8年「もう、きみには頼まない石坂泰三の世界」で第44回菊池寛賞受賞。平成14年朝日賞受賞。

城山氏は、著書をはじめ所蔵した多くの書籍、直筆原稿、取材メモ他、愛用品を含む貴重な資料を、名古屋に寄贈され、現在それらは文化のみち二葉館で所蔵しています。

この度、二葉館では開館10周年を記念して、あらためて氏が遺した貴重な資料の数々を展示紹介します。



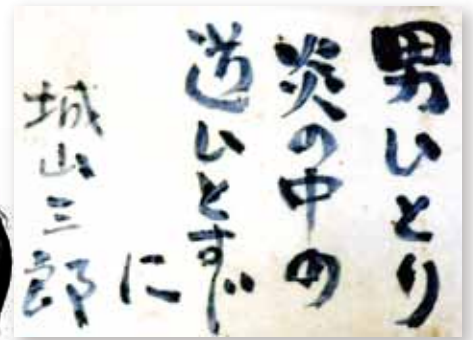
『気張る男』直筆原稿



『勇者は語らず』取材ノート

城山三郎 コレクション

— 気骨の作家が遺したもの —



陶板



詩集「北回帰線」



杉浦有一 ■プロフィール

昭和31年、作家城山三郎の長男として愛知県名古屋市に生まれ、神奈川県茅ヶ崎市で育つ。昭和55年、慶應義塾大学経済学部卒業。同年、大手都市銀行に入行、米国ニューヨーク駐在通算11年。現在は神奈川県川崎市に在住。

「捕虜の居た駅」…小説中央公論(昭和36年夏季号)掲載、名鉄有松駅を舞台にした短編小説で、城山著書未収録作品。城山三郎は終戦後、有松駅にほど近い桶狭間に疎開していた家族のもとに帰還した。

トークイベント「杉浦英一と城山三郎」

第一部/家族の視点から城山三郎について

ご長男の杉浦有一氏によるお話

第二部/城山三郎作品「捕虜の居た駅」

俳優・天野鎮雄氏による朗読

日時:平成27年2月22日(日)

13:30~15:00

会場:文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料) 当日先着順自由席

天野鎮雄 ■プロフィール

昭和11年2月13日 名古屋市生まれ。東海ラジオの「ミッドナイト東海」をはじめ「さんさん!モーニング」など多数の放送番組に出演し、テレビ・舞台でも“アマチン”の愛称で親しまれてきた。現在、劇座の代表でもあり若者の俳優育成にも力を注いでいる。



2月8日(日)ふたばの日は開館記念日につき 入館料無料

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館
【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3丁目23番地
Tel. Fax 052-936-3836
http://www.futabakan.jp/

「ドニチエコきっぷ」【一日乗車券】

をご利用してご入館の方は入館料割引 一般200円→160円

交通のご案内

- なごや観光ルートバスめぐル「文化のみち二葉館」下車
 - 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
 - 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
 - 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
 - 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分
- ※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

